平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月14日

上場会社名	そーせいグループ株式会社		上場取引所　東
コード番号	4565		ＵＲＬ　http://www.sosei.com/
代表者　（役職名）	代表執行役社長（兼取締役）ＣＥＯ	（氏名）田村　眞一	
問合せ先責任者　（役職名）	執行役副社長	（氏名）虎見　英俊	ＴＥＬ 03-5210-3290
四半期報告書提出予定日	平成23年11月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	804	13.4	△685	―	△754	―	△755	―
23年３月期第２四半期	709	△10.0	△541	―	△632	―	△616	―

（注）　包括利益　　24年３月期第２四半期 △708百万円　　（－%）　23年３月期第２四半期　△556百万円　　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第２四半期	△6,386　27	―　―
23年３月期第２四半期	△5,230　94	―　―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	8,331	7,991	92.7
23年３月期	8,991	8,656	93.7

（参考）自己資本　24年３月期第２四半期　7,721百万円　23年３月期　8,429百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	―　―	0　00	―　―	0　00	0　00
24年３月期	―　―	0　00			
24年３月期（予想）			―　―	0　00	0　00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	876	22.2	△2,167	―	△2,167	―	△2,167	―	△18,311　95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

連結業績予想の修正については、本日（平成23年11月14日）公表いたしました「平成24年３月期通期業績予想（連結・個別）の修正および平成24年３月期第２四半期累計業績予想（個別）と実績値との差異に関するお知ら

せ」をご参照ください。

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	118,338株	23年３月期	118,338株
② 期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	－株	23年３月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期２Ｑ	118,338株	23年３月期２Ｑ	117,913株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は11月11日付で終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項につきましては、［添付資料］４ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成23年11月15日（火）にアナリスト向けにネット・カンファレンスを開催する予定です。

その説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、日本及び英国の子会社（日本：株式会社そーせい、株式会社アクティバスファーマ、英国：Sosei R&D Ltd.）を中心にグローバルに医薬品の研究開発事業を展開しております。

主な収益源は、開発の進展に応じて導出・販売提携先より当社グループに支払われるマイルストン収入並びに医薬品の販売による収入等であります。また主な費用として、研究開発費並びにのれんの償却費が発生しております。

当第２四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりであります。

①　売上高

当第２四半期連結累計期間は、804百万円の売上高を計上しました（前年同四半期709百万円）。主な内容は、ＮＶＡ２３７の欧州における承認申請に伴うマイルストン収入、あすか製薬株式会社からのノルレボ®錠0.75mgの国内販売開始に伴うマイルストン収入、及び同社への販売収入であります。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、当第２四半期連結累計期間より、あすか製薬株式会社へのノルレボ®錠 0.75mgの国内における売上の計上によるものであります。

②　売上総利益

当第２四半期連結累計期間は、609百万円の売上総利益となりました（前年同四半期660百万円）。売上原価の主な内訳は、ノルレボ®錠 0.75mgの国内販売に係る原価であります。売上総利益の前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、上記売上原価を、当第２四半期連結累計期間より計上しているためであります。

③　営業損益

当第２四半期連結累計期間は、685百万円の営業損失となりました（前年同四半期営業損失541百万円）。販売費及び一般管理費の合計は1,295百万円となりました（前年同四半期1,201百万円）。その内訳は、研究開発費100百万円（前年同四半期122百万円）、のれん償却額794百万円（前年同四半期同額）、その他の販売費及び一般管理費401百万円（前年同四半期285百万円）となっております。営業損益の前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、上記②に記載の要因及び当第２四半期連結累計期間は、前第２四半期連結会計期間末に連結子会社となった株式会社アクティバスファーマの販売費及び一般管理費が組み込まれているためであります。

④　経常損益

当第２四半期連結累計期間は、754百万円の経常損失となりました（前年同四半期経常損失632百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、上記③に記載のとおりであります。

⑤　四半期純損益

当第２四半期連結累計期間は、755百万円の四半期純損失となりました（前年同四半期四半期純損失616百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、上記③に記載のとおりであります。

⑥　セグメントの業績

セグメントの業績については、次のとおりであります。

ａ．国内医薬事業

国内医薬事業におきましては、売上高は408百万円となりました（前年同四半期54百万円）。主な内容は、あすか製薬株式会社からのノルレボ®錠 0.75mgの国内販売開始に伴うマイルストン収入、国内における同社への販売収入及びオーストラリアにおけるサンド社（オーストラリア）への販売収入であります。その結果、セグメント利益は19百万円となりました（前年同四半期セグメント損失134百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、当四半期連結累計期間に発生した、あすか製薬株式会社からのノルレボ®錠0.75mg国内販売開始に伴うマイルストン収入及び国内における同社への販売収入によるものであります。

ｂ．海外医薬事業

海外医薬事業におきましては、売上高は396百万円となりました（前年同四半期655百万円）。主な内容は、ＮＶＡ２３７の欧州における承認申請に伴うマイルストン収入であります。その結果、セグメント損失は443百万円となりました（前年同四半期セグメント損失188百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、不定期に発生するマイルストン収入の差によるものであります。なお、海外医薬事業における営業費用には、のれん償却額794百万円が含まれております。

⑦　研究開発活動

当第２四半期連結累計期間における主な研究開発活動は、ＮＶＡ２３７の第Ⅲ相臨床試験の３本の試験終了及び欧州における承認申請、ＳＯ－１１０５（口腔カンジダ症）など新たな開発品の導入等について開発進捗を図ったことであります。なお、研究開発費は100百万円（前年同四半期122百万円）となりました。

各開発品等の進捗に関するセグメント別の詳細は以下のとおりであります。

a.　国内医薬事業

■ＳＯ－１１０５（適応：口腔カンジダ症）

開発段階：臨床試験準備中（平成23年９月30日現在）

本年５月に、ＳＯ－１１０５の日本における独占開発販売権を、ビオアリヤンス社（BioAlliance Pharma、フランス）より取得いたしました。ＳＯ－１１０５は免疫機能の低下した患者等に発症する口腔カンジダ症を治療する口腔粘膜付着性の抗真菌剤です。口腔カンジダ症とは、真菌に属する主として*Candida albicans*（カンジダ・アルビカンス）の感染により引き起こされる口腔内の粘膜炎症性疾患で、ＨＩＶ感染等による免疫不全患者や糖尿病のような慢性的な疾病の患者に多く見られます。同剤は、ビオアリヤンス社が開発し、平成18年10月にフランスで初めて承認を取得して以来、現在までに欧州の26カ国、米国や韓国において承認されております。

現在は、国内における開発計画について平成24年3月期中の臨床試験開始に向けて独立行政法人医薬品医療機器総合機構と協議中であります。

■ＡＰＮＴ（Activus Pure Nano-particle Technology）：ナノ粉砕化技術

当社グループは、創薬基盤技術の強化を図るため、平成22年８月に株式会社アクティバスファーマを買収し、同社のナノ粉砕化技術（以下「ＡＰＮＴ」）を取得いたしました。ＡＰＮＴの特徴は、難溶性の医薬品原料を50-300nm（ナノメートル）レベルの結晶粒子径に粉砕しつつ、既存技術で問題となっている不純物の混入を極めて低く抑えることが可能という点にあります。この特徴により、これまで開発が困難であった難溶性薬物の注射、点眼、吸入製剤への応用を検討しております。具体的には、５月12日に、医薬品の製造販売に多くの実績とノウハウを持つ東亜薬品株式会社及び同社の子会社である日東メディック株式会社と、同社保有の複数の点眼剤等を対象にＡＰＮＴを用いた共同研究を進めることに合意し、基本契約を締結いたしました。今後、それぞれの製品の開発に合意した場合は、事業化に関する個別契約を締結いたします。

また、ＡＰＮＴを応用した効率的な眼疾患治療のための医薬品開発を目的とし、平成23年６月20日に岐阜薬科大学との共同研究契約を締結いたしました。現在は、新規後眼部疾患治療薬を開発しております。糖尿病性網膜症や加齢黄斑変性症等の後眼部疾患は、中途失明等視覚障害の主要な原因ですが、本プロジェクトではＡＰＮＴを活用した共同研究を基に、既存の治療方法とは異なり後眼部に特異的に薬物を送達しうる新規点眼剤を開発し、患者ＱＯＬの向上を目指します。

なお、本技術は、平成23年８月に、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「ＮＥＤＯ」の平成23年度イノベーション推進事業に係る助成事業に採択されました。

b.　海外医薬事業

■ＮＶＡ２３７（適応：慢性閉塞性肺疾患（ＣＯＰＤ））

開発段階：第Ⅲ相臨床試験終了。欧州において承認申請中。（平成23年９月30日現在）

当社グループが大手製薬会社であるノバルティス社（本社スイス）に導出しているＮＶＡ２３７は、第Ⅲ相臨床試験の３本（ＧＬＯＷ１、ＧＬＯＷ２、ＧＬＯＷ３）の試験が当第２四半期連結累計期間において終了し、ＧＬＯＷ１及びＧＬＯＷ３試験の詳細なデータが、ノバルティス社により本年９月にアムステルダムで開催の欧州呼吸器学会（ERS: European Respiratory Society）において発表されました。

中等症から重症のＣＯＰＤ患者を対象に実施されたＧＬＯＷ１試験において、ＮＶＡ２３７は、プラセボと比較して呼吸機能を有意に改善し、また初回投与時から速やかに効果が発現いたしました。

ＧＬＯＷ３試験においては、ＮＶＡ２３７は、運動耐容能（薬剤による身体運動負荷の改善を表す指標）の改善を示し、主要評価項目を達成いたしました。

以上のとおり、ＧＬＯＷ１、３両試験において、ＮＶＡ２３７の良好な忍容性と、有害事象の発生率がプラセボ群とほぼ同等であることが確認されました。なお、ＧＬＯＷ２試験の詳細なデータにつきましては、ノバルティス社は平成24年開催予定の医学学会において発表する予定であります。

また、平成23年10月25日発表のとおり、米国においては承認申請を補完する追加の臨床データが必要となるため、承認申請の遅延が見込まれます。現在ノバルティス社ではＦＤＡの指摘を踏まえ、ＮＶＡ２３７の投与計画について検討しております。

欧州、その他の地域においては変更はなく、ノバルティス社は平成24年発売を予定していると発表しております。

■ＱＶＡ１４９（適応：慢性閉塞性肺疾患（ＣＯＰＤ））
開発段階：第Ⅲ相臨床試験中（平成23年９月30日現在）
ＮＶＡ２３７とノバルティス社が独自で開発しましたインダカテロール（欧州、日本、米国を含む70ヵ国以上で承認）との固定用量配合剤であるＱＶＡ１４９につきましては、現在5,500名のＣＯＰＤ患者を対象に６本の第Ⅲ相臨床試験が実施されております。また、米国においては、ＮＶＡ２３７同様、ＱＶＡ１４９においても追加臨床試験の実施が必要となるため、承認申請の遅延が見込まれますが、欧州、その他の地域においては変更はなく、ノバルティス社は平成24年に承認申請を予定していると発表しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報
①　資産、負債及び純資産の状況
当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ660百万円減少し8,331百万円となりました。
流動資産は前連結会計年度末に比べ103百万円減少し1,770百万円となりました。主な減少要因は、ビオアリヤンス社へ、ＳＯ－１１０５の販売に係るライセンスの対価として、242百万円を支払った事によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ557百万円減少し6,561百万円となりました。主な増減要因は、前掲のＳＯ－１１０５に係るライセンス料242百万円を無形固定資産計上したこと及び、Sosei R&D Ltd.買収に係るのれんの償却費が794百万円発生したことであります。なお、当第２四半期連結会計期間末ののれんの残高は6,220百万円であります。
現金及び預金の合計額は、前連結会計年度末と比べて562百万円減少し1,189百万円となりました。当社グループの手許流動性は、当第２四半期連結会計期間末では現金及び３ヶ月以内に現金化が可能な定期預金によるもので、コミットメントライン契約などはありません。なお、流動資産の総資産に占める比率は21.3%、現金及び預金の流動資産に占める比率67.2%であります。
負債合計は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加し339百万円となりました。純資産は前連結会計年度末に比べ664百万円減少し7,991百万円となりました。これは主に、四半期純損失計上によるものであります。
以上により、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント下降し92.7%となりました。
②　キャッシュ・フローの状況
当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
営業活動によるキャッシュ・フローは297百万円のマイナス（前年同四半期288百万円のプラス）となりました。主なプラス要因はのれん償却額794百万円であり、マイナス要因は税金等調整前四半期純損失754百万円及び売上債権の増加額561百万円であります。投資活動によるキャッシュ・フローは248百万円のマイナス（前年同四半期15百万円のプラス）となりました。主なマイナス要因はＳＯ－１１０５の開発権取得に伴う支出242百万円であります。また、財務活動によるキャッシュ・フローは発生しておりません。前年同四半期においても百万円未満であります。
上記の活動の結果、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,189百万円（前年同四半期2,150百万円）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報
連結業績予想につきましては、ＮＶＡ２３７の米国における承認申請の遅延に伴い、マイルストン収入が来期以降となる等の減収が予想されるため、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成23年11月14日）公表いたしました「平成24年３月期通期業績予想（連結・個別）の修正および平成24年３月期第２四半期累計業績予想（個別）と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

第22期（当期）第１四半期決算短信で記載しましたとおり、前連結会計年度に表明されていた継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況は、解消されております。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,751,471	1,189,319
売掛金	50	531,302
商品及び製品	62,984	―
その他	59,146	49,994
流動資産合計	1,873,653	1,770,616
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	31,321	26,284
機械装置及び運搬具（純額）	15,622	15,085
工具、器具及び備品（純額）	5,949	7,698
有形固定資産合計	52,893	49,067
無形固定資産		
のれん	7,014,102	6,220,052
その他	12,836	253,965
無形固定資産合計	7,026,938	6,474,018
投資その他の資産		
その他	38,302	37,996
投資その他の資産合計	38,302	37,996
固定資産合計	7,118,134	6,561,082
資産合計	8,991,787	8,331,699
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,824	117,317
未払金	49,108	34,726
未払費用	201,102	162,338
その他	22,301	25,543
流動負債合計	335,336	339,925
負債合計	335,336	339,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,988,055	16,988,055
資本剰余金	18,908,795	18,908,795
利益剰余金	△28,627,728	△29,383,466
株主資本合計	7,269,121	6,513,383
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,160,186	1,207,862
その他の包括利益累計額合計	1,160,186	1,207,862
新株予約権	227,143	270,528
純資産合計	8,656,450	7,991,773
負債純資産合計	8,991,787	8,331,699

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	709,885	804,696
売上原価	49,604	194,734
売上総利益	660,280	609,961
販売費及び一般管理費	1,201,554	1,295,720
営業損失（△）	△541,273	△685,758
営業外収益		
受取利息	702	189
雑収入	55	86
営業外収益合計	758	275
営業外費用		
為替差損	92,058	68,700
営業外費用合計	92,058	68,700
経常損失（△）	△632,574	△754,183
特別利益		
新株予約権戻入益	1,752	－
負ののれん発生益	13,969	－
特別利益合計	15,722	－
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,293	－
特別損失合計	1,293	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△618,145	△754,183
法人税、住民税及び事業税	△1,349	1,555
法人税等合計	△1,349	1,555
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△616,796	△755,738
四半期純損失（△）	△616,796	△755,738
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△616,796	△755,738
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	60,695	47,676
その他の包括利益合計	60,695	47,676
四半期包括利益	△556,100	△708,062
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△556,100	△708,062
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△618,145	△754,183
減価償却費	6,199	9,201
負ののれん発生益	△13,969	－
のれん償却額	794,049	794,049
株式報酬費用	27,439	43,384
為替差損益（△は益）	67,734	85,701
売上債権の増減額（△は増加）	41,663	△561,803
たな卸資産の増減額（△は増加）	－	62,475
未収入金の増減額（△は増加）	△10,949	△16,482
立替金の増減額（△は増加）	－	11,173
仕入債務の増減額（△は減少）	△36,255	54,493
未払費用の増減額（△は減少）	△26,128	△26,266
未払消費税等の増減額（△は減少）	1,146	9,526
その他	12,070	△5,994
小計	244,854	△294,722
利息及び配当金の受取額	702	189
法人税等の還付額	45,407	－
法人税等の支払額	△2,160	△3,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	288,805	△297,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	－	△2,968
無形固定資産の取得による支出	△2,675	△244,660
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	19,154	－
その他	△600	△573
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,879	△248,201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
その他	0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	－
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,367	△16,148
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	292,317	△562,151
現金及び現金同等物の期首残高	1,857,944	1,751,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,150,262	1,189,319

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	国内医薬事業（千円）	海外医薬事業（千円）	合計（千円）
売上高			
外部顧客への売上高	54,247	655,637	709,885
計	54,247	655,637	709,885
セグメント利益又は損失（△）	△134,045	△188,153	△322,199

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	△322,199
全社費用（注）	△241,043
その他調整額	21,969
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失（△）	△541,273

（注）全社費用は、単独では収益を獲得しない持株会社にかかる費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産についての重要な減損損失の認識、又はのれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	国内医薬事業（千円）	海外医薬事業（千円）	合計（千円）
売上高			
外部顧客への売上高	408,627	396,069	804,696
計	408,627	396,069	804,696
セグメント利益又は損失（△）	19,537	△443,705	△424,167

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	△424,167
全社費用（注）	△279,183
その他調整額	17,593
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失（△）	△685,758

（注）全社費用は、単独では収益を獲得しない持株会社にかかる費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産についての重要な減損損失の認識、又はのれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。